

# 研究名： 小児肝移植におけるトロンボエラストグラフィの周術期管理への活用

## 1．研究の目的

肝移植術中は術中に出血を止めるための機能である凝固能が大きく変動することが知られており、そのため出血や血栓形成が起こりやすく術後予後に大きく影響します。本研究では一般的な血液検査より詳細に凝固機能を検査できるトロンボエラストグラフィを使用し疾患毎に検討することによって、術中の出血や血栓形成の予防につながる麻酔管理を確立することを目的とした研究です。

## 2．研究の方法

研究対象：当センターにて 2023 年 5 月～2024 年 4 月末までに当院で肝移植を施行した患者さん

研究期間：倫理審査委員会承認後～2026 年 4 月

研究方法：肝移植術に施行しているトロンボエラストグラフィの結果を症例群毎に抽出し、術後経過などを含め検討する

## 3．研究に用いる情報の種類

病歴、身長、体重、術前状態、術中麻酔管理、トロンボエラストグラフィを含む血液検査データ、術後経過

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

## 4．情報の公表

研究内容は学会発表・学術論文の形で公表する予定です。

## 5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

## 6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年7月1日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 麻酔科 馬場千晶（担当者氏名）

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7960）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 麻酔科 馬場千晶